

上海への琉球泡盛輸出促進事業

令和4年1月15日（土）から1月23日（日）までの間、上海の大規模商業施設（上海金虹橋商場「ARCH WALK」）に「泡盛のアンテナショップ」を出店し、昨年度に引き続き、一般消費者向けの試飲・販売会を開催。

併せて、新たな販路開拓のため、現地酒類販売業者等との商談会を実施。

【実施概要】 ※印は昨年度との比較

- ◆ 準備した泡盛は、貯蔵年数3年以上（古酒）の22者31銘柄。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、施設来場者数は当初見込みに比して9割以上減の約33千人であったが、販売した泡盛の平均単価は上昇。
※ 平均単価：約3,204円⇒約6,070円（約1.9倍）
- ◆ 商業施設への来場者以外に対しても、中国人インフルエンサーによるライブコマース（インターネットでの実演販売）等を活用したPRと販売を実施。
※ 視聴者数：約32万人⇒約101万人（3倍超）
- ◆ 現地バーで泡盛セミナー・商談会を実施し、輸入商社や飲食店、代理店など多岐に渡る現地21業者が参加。泡盛の輸出について成約（見込み含む）。
※ 成約本数：600本⇒約2千本（計700万円超）（3倍超）